

〈概要版〉

新たな総合計画等の策定に向けた  
若者アンケート調査報告書

令和6年2月

大分市

# 「新たな総合計画等の策定に向けた若者アンケート調査」

## 【目的】

この調査では令和6年度で終了する「大分市総合計画」に代わる新たな総合計画および「(仮称)大分市若者活躍推進プラン」の策定にあたり、次代を担う若者の将来に対する意識などを把握し、その結果および意見を反映させることを目的としております。

## 【調査概要】

調査概要は以下のとおりです。

調査期間	令和5年10月27日(金)～11月12日(日)
調査地域	市内全域
調査対象	住民基本台帳に記載された市内在住の16歳以上29歳以下の市民
調査方法	郵送による案内、インターネットによる無記名回答
対象者数(発送数)	3,000人
抽出方法	無作為抽出
回答総数	674件
有効回収率	22.5% ※有効回収率 回答総数÷(発送数-不明戻数)
不明戻数	10件

## 【調査結果の処理】

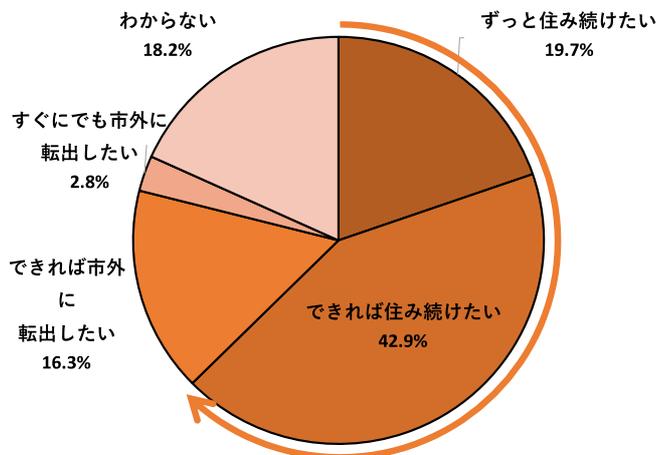
- 調査結果の回答比率は小数点第2位を四捨五入し表示しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- 2つ以上の回答を求めた複数回答の設問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。

# 定住意識について

## 大分市にずっと住み続けたい

# 62.6%

「ずっと住み続けたい」が19.7%、「できれば住み続けたい」が42.9%で、定住意向率は62.6%である。職業別でみると、定住意向率は「専業主婦（主夫）」が80.0%と最も高くなっている。



### ◆ 理由

- 住み慣れて愛着がある (37.7%)
- 日常生活を送りやすい (37.0%)
- 生まれ育ったところである (33.4%)
- 自分の土地や家が大分市にある (31.0%)
- 自然環境が良い (19.0%) など...

## 大分市外に転出したい

# 19.1%

「すぐにでも市外に転出したい」が2.8%、「できれば市外に転出したい」が16.3%で、転出意向率は19.1%である。職業別で見ると、転出意向率は「専門学校生または専修学校生」が34.6%と最も高くなっている。

### ◆ 理由

- 希望の就職先や進学先が大分市にない (44.2%)
- 交通の便が悪い (42.6%)
- レジャー・娯楽施設が少ない (40.3%)
- 通勤・通学に不便である (9.3%)
- 市外の実家（地元）に戻りたい (9.3%) など...

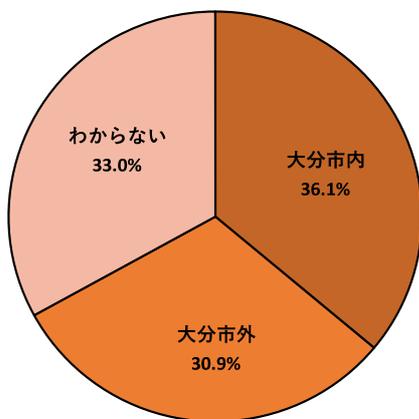
### ◆ その他の質問

質問内容	回答が多かった選択肢（上位2つ）	割合
住む場所を選ぶ際に重視することは何ですか。	治安が良いこと	49.3%
	周辺に買い物できる施設が多いこと	46.1%
若者の大分市への定住を促進するために、大分市が力を入れるべきだと思うものは何ですか。	子育て・教育環境の充実	55.6%
	公共交通機関の充実	44.7%

# 就業意識について

大分市内に就職したい

36.1%



大分市外に就職したい

30.9%

現在転職を考えている、就職していない方に向けた調査において、就職したいと思う地域として、「大分市内」が36.1%、「大分市外」が30.9%、「わからない」が33.0%である。性別で見ると、男性は「大分市内」が27.3%、「大分市外」が34.7%、女性は「大分市内」が42.3%、「大分市外」が29.1%と、女性の方が大分市内の就職希望が多い。

## ◆大分市外に就職したい理由

- 希望する企業や職種が多い (54.5%)
- 給料などの労働条件が良い (51.2%)
- 大企業が多い (36.4%)
- 都会で暮らしてみたい (33.9%)
- 視野を広げたい (32.2%) など...

## ◆ その他の質問

内容	回答が多かった選択肢 (上位2つ)	割合
あなたは、現在就職していますか。	就職していない	51.9%
	就職している	42.0%
職業や就職先を選ぶ際に重視することは何ですか？	給料	76.9%
	ワークライフバランスの充実	45.1%

# 大分市の魅力と課題・将来像について

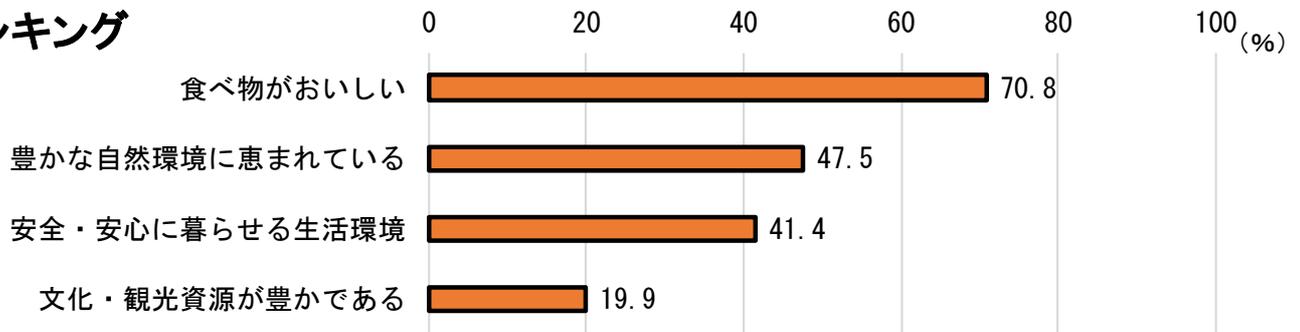
## 魅力ランキング

- ① 食べ物がおいしい (70.8%)
- ② 豊かな自然環境に恵まれている (47.5%)
- ③ 安心・安全に暮らせる生活環境 (41.4%)

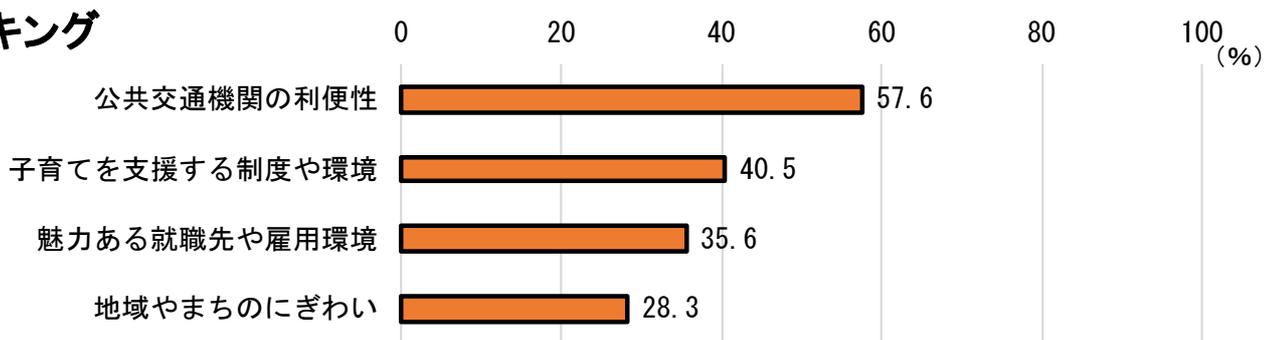
## 課題ランキング

- ① 公共交通機関の利便性 (57.6%)
- ② 子育てを支援する制度や環境 (40.5%)
- ③ 魅力ある就職先や雇用環境 (35.6%)

### 魅力ランキング



### 課題ランキング



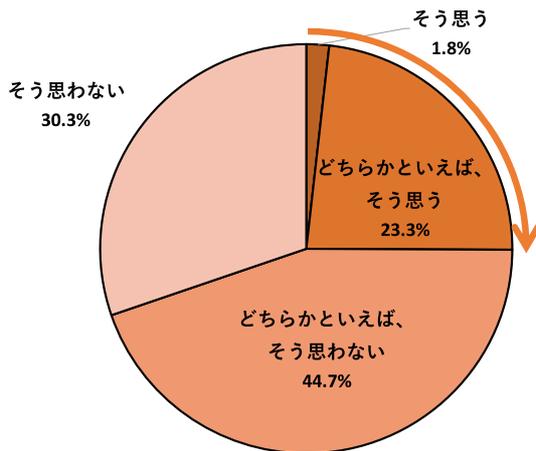
### ◆ その他の質問

内容	回答が多かった選択肢（上位2つ）	割合
10年後の大分市に期待することは何ですか。	子育てを支援する制度や環境	52.8%
	公共交通機関の利便性	50.9%
未来の大分市を良くするためにどのような行動をしたいですか。	仕事や学業にしっかりと取り組むことで貢献したい	70.6%
	大分市の良さをPRする、市産品のものを購入することで貢献したい	32.8%

# 若者の活躍推進について

## 若者の意見が反映されていると思う

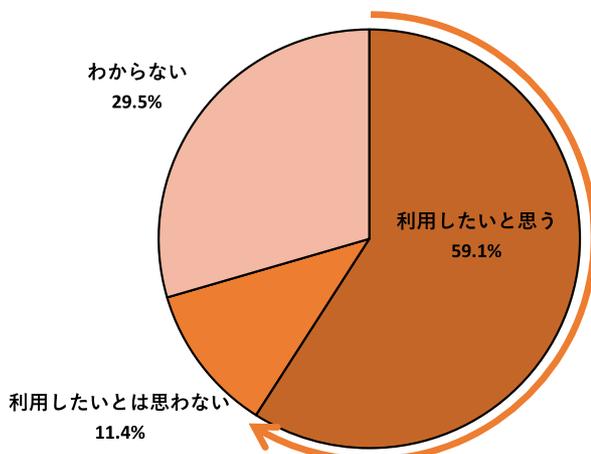
25.1%



市政へ若者の意見が反映されているかについて、「そう思う」が1.8%、「どちらかといえば、そう思う」が23.3%であり、肯定率は25.1%である。一方、「そう思わない」が30.3%、「どちらかといえば、そう思わない」が44.7%であり否定率は75.0%である。年齢別にみると、「21歳」の肯定率が43.7%と最も高くなっている。

## 声を届ける場所があれば利用したい

59.1%



若者の声を届ける場について、「利用したいと思う」が59.1%、「利用したいと思わない」が11.4%である。年齢別でみると、「利用したいと思う」は「23歳」が71.9%と最も高くなっている。

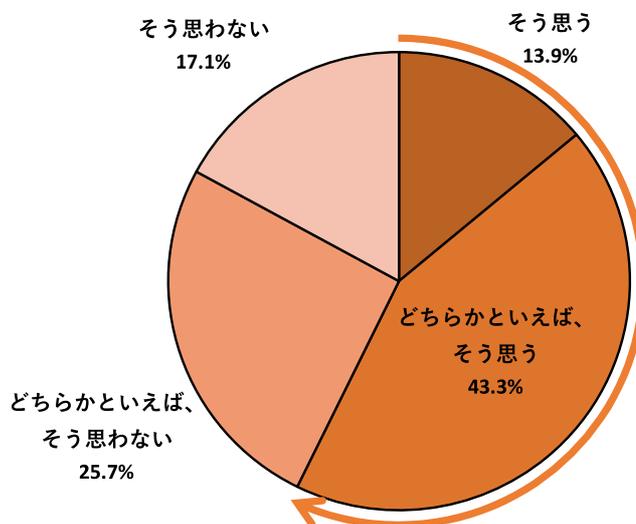
## ◆利用したいと思わない理由

- 若者の声を届けても何も変わらないと感じている (51.9%)
- 日常生活が忙しく時間的・体力的な余裕がない (37.7%)
- 市政にあまり興味がない (35.1%)
- 市の政策や取組を十分に知らない (28.6%) など...

## 自治会活動や地域の行事等の市民活動に参加したいと思う

57.2%

市民活動の参加意欲について、「そう思う」が13.9%、「どちらかといえば、そう思う」が43.3%であり、肯定率は57.2%である。一方、「そう思わない」が17.1%、「どちらかといえば、そう思わない」が25.7%であり、否定率は42.8%である。年齢別でみると、肯定率は「23歳」が78.2%と最も高くなっている。一方で、否定率は「29歳」が56.8%と最も高くなっている。



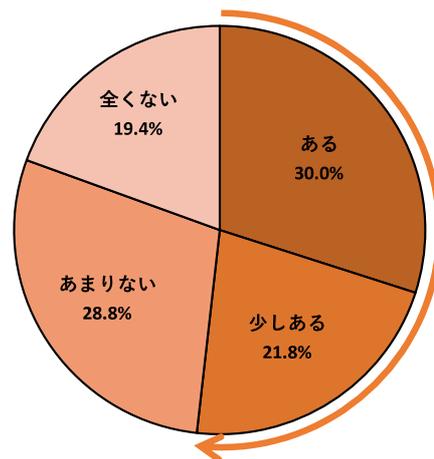
## ◆参加したいと思わない理由

- 日常生活が忙しく時間的・体力的な余裕がない (80.2%)
- 輪に入りづらい (35.4%)
- 活動している団体などを良く知らない (27.1%)
- 参加の仕方が分からない (9.4%) など...

## 学校や職場以外の人と交流がある

# 51.8%

学校や職場以外の人との交流の有無について、「ある」が30.0%、「少しある」が21.8%であり、肯定率は51.8%である。一方、「あまりない」が28.8%、「全くない」が19.4%であり、否定率は48.2%である。年齢別で見ると、肯定率は「16歳」が62.7%と最も高くなっている。一方で、否定率は「19歳」が58.8%と最も高くなっている。



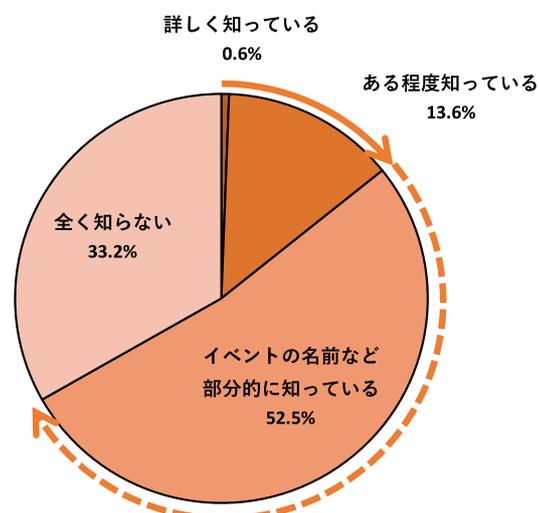
### ◆ その他の質問

内容	回答が多かった選択肢（上位2つ）	割合
あなたは、ここ2~3年で、学校や職場以外の人とどのような交流をしましたか。	祭りなどの地域行事	35.8%
	SNS等を通じてオンラインで交流する	29.7%
あなたは、学校や職場以外の人とどのような交流をしたいと思いますか。	祭りなどの地域行事	44.7%
	キャンプ、川遊びなどの自然体験	23.4%
あなたは、こういった条件が揃えば、学校や職場以外の人と交流したいと思いますか。	時間に余裕ができたなら	59.5%
	利用しやすい交流場所があったら	45.7%

## 市のイベント情報などを知っている

# 66.7%

市の情報の認知度として、「詳しく知っている」が0.6%、「ある程度知っている」が13.6%、「イベントの名前など部分的に知っている」が52.5%であり、認知率は66.7%である。一方、「全く知らない」は33.2%であり、年齢別で見ると、「21歳」が46.9%、次いで「20歳」が40.4%と高くなっている。

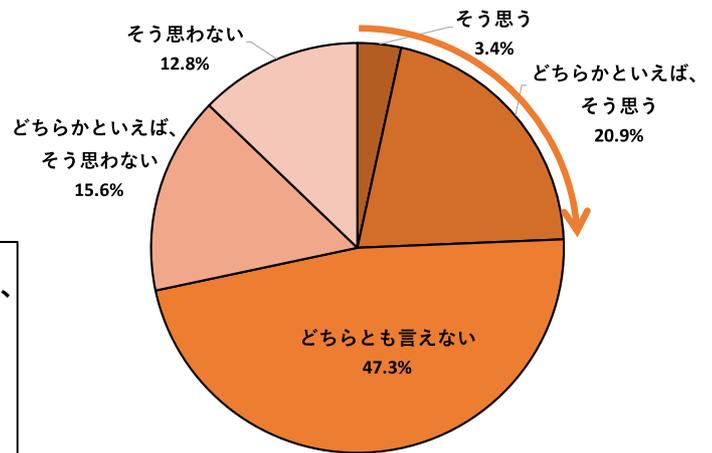


## ◆ その他の質問

内容	回答が多かった選択肢（上位2つ）	割合
あなたが、日常的に情報収集に使っている情報ツールを教えてください。	Instagram	69.3%
	X（旧Twitter）	53.4%
あなたは、市政情報や大分市が実施するイベントなどの情報をどの情報ツールを通じて入手していますか。	テレビ・ラジオ	39.6%
	ウェブサイト（HP等）	39.1%

## 大分市は若者が活躍しやすいまちだと思う

24.3%



「どちらとも言えない」が47.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」が20.9%、「どちらかといえば、そう思わない」が15.6%である。年齢別でみると、肯定率は「21歳」が37.6%と最も高くなっている。一方で、否定率は「29歳」が41.8%と最も高くなっている。

## ◆ その他の質問

内容	回答が多かった選択肢（上位2つ）	割合
あなたは自主的な活動（※）をしやすいするために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。	経済的負担を軽減する支援	71.1%
	場所や機会の提供	51.9%

※文化的な活動やスポーツ活動、ボランティア、起業など、学校や職場以外の場面において自分の意志や判断で行う活動で、自己実現や社会貢献につながるものです。

# 積極的回答と消極的回答について

---

各設問（定住意識、就業意識、大分市の魅力と課題、若者の活躍推進）に対する回答を「積極的回答」「消極的回答」の2つに分けて全体の傾向を把握した。

## ● 積極的回答

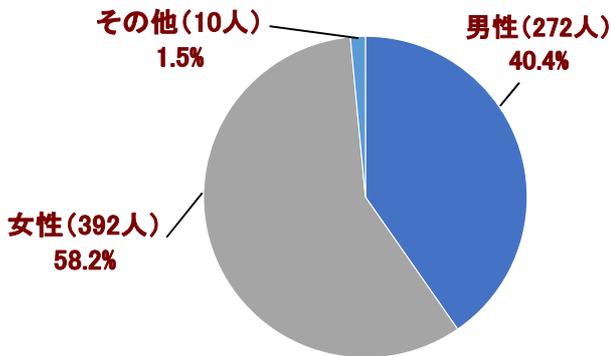
積極的回答であった項目は、問2の住み続けたい理由に関する設問に対して「住み慣れて愛着がある」が37.7%、「日常生活を送りやすい」が37.0%、「生まれ育ったところである」が33.4%など、大分市に対する地域愛に関する回答が多く寄せられた。また、問10の大分市の誇り・魅力に関する設問に対して「食べ物がおいしい」が70.8%、「豊かな自然環境に恵まれている」が47.5%、「安全・安心に暮らせる生活環境」41.4%、問21のどのような交流をしたいかという設問に対して「祭りなどの地域行事」が44.7%など日常生活を快適・充足するための環境に関する回答が多い傾向が見られた。

## ● 消極的回答

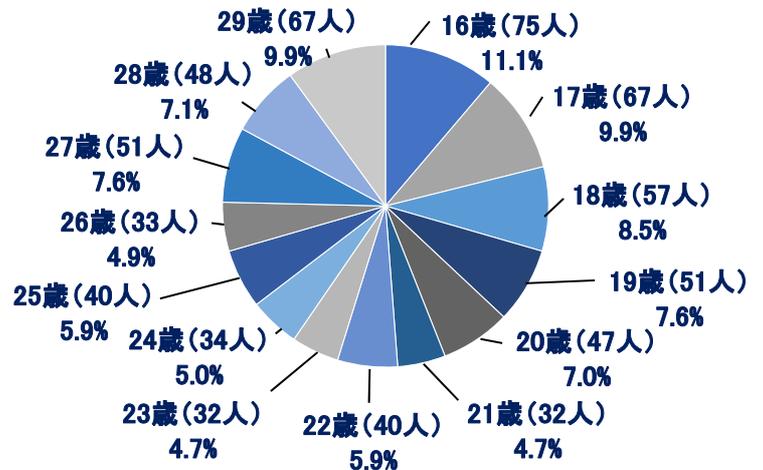
消極的回答であった項目は、問3の大分市から転出したい理由に関する設問に対して「希望の就職先や進学先が大分市にない」が44.2%、問5の大分市が力を入れるべきことに関する設問に対して「子育て・教育環境の充実」が55.6%、問14の市政に若者の意見が反映されているかという設問に対して「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」が合わせて75.0%などの回答が寄せられた。さらに問3の大分市から転出したい理由に関する設問に対して「レジャー・娯楽施設が少ない」が40.3%、問11の現在の大分市に不足しているものに関する設問に対して「公共交通機関の利便性」が57.6%と、より快適な生活を求める回答があった。

# 調査対象者の構成

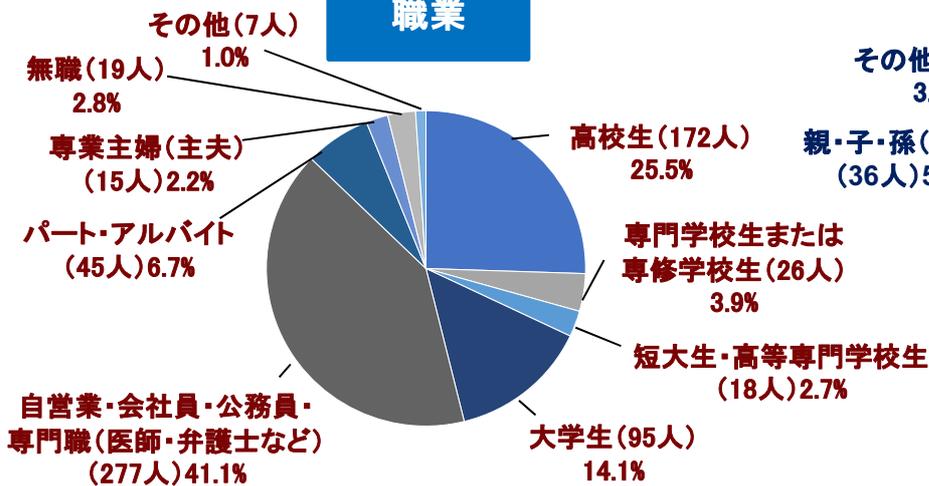
## 性別



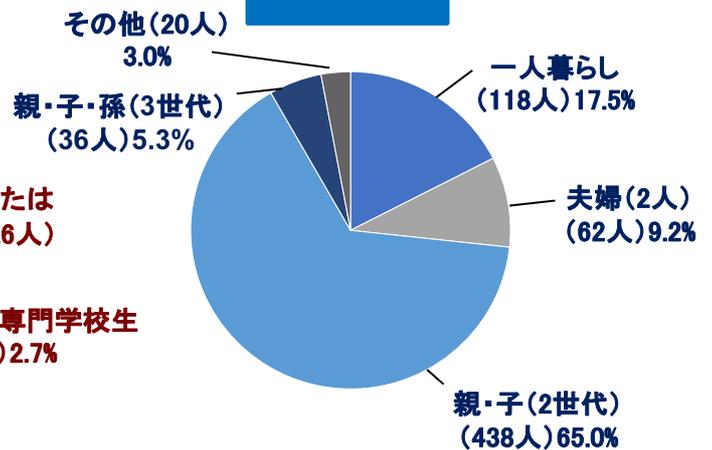
## 年齢



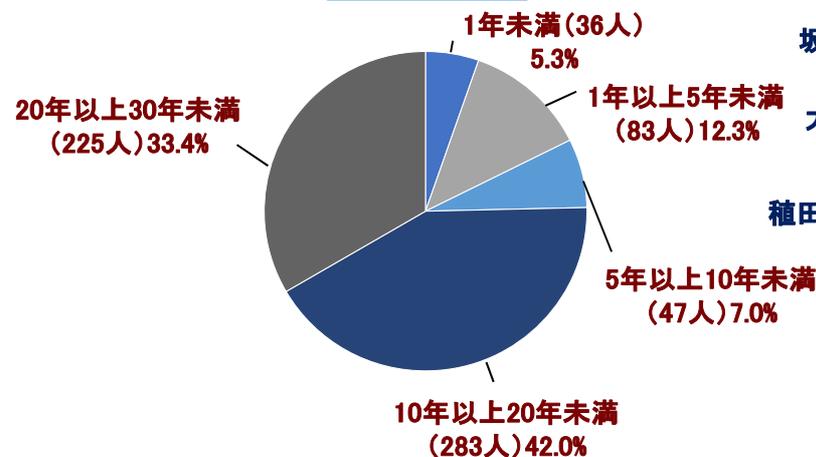
## 職業



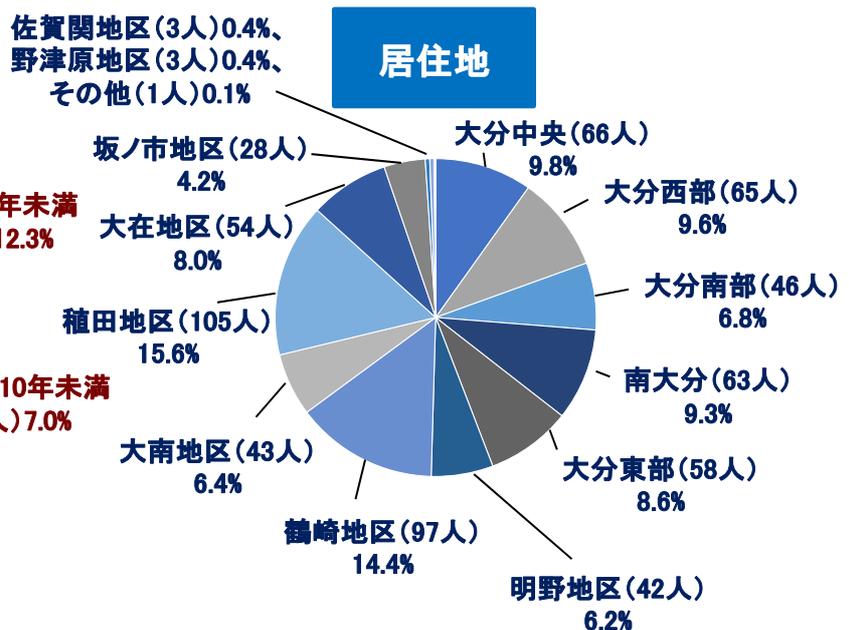
## 家族構成



## 居住年数



## 居住地



■発行：令和6年2月

■お問い合わせ：大分市企画部企画課

(TEL) 097-537-5603 (FAX) 097-534-6182

(E-Mail) kikaku@city.oita.oita.jp